

協会けんぽの平成 29 年度決算見込み(医療分)について

<協会会計と国の特別会計との合算ベース>

平成 30 年 7 月 6 日
全国健康保険協会

<全体の収支状況>

- 平成 29 年度は収入(総額)が 9 兆 9,485 億円、支出(総額)が 9 兆 4,998 億円となり、収支差は 4,486 億円となりました。

<収入の状況>

- 収入(総額)は前年度から 3,265 億円の増加となりました。主に「保険料収入」が 3,833 億円増加(4.6%)したことによるものですが、これは保険料を負担する被保険者の人数が 3.9%増加したこと、被保険者の賃金(標準報酬月額)が 0.6%増加したことが要因です。(なお、賃金の伸びについては、28 年度の+1.1%の伸びと比較して半減しましたが、これは、28 年度に制度改正(標準報酬月額の上限引上げ)の影響があり、その影響を除いた 28 年度の賃金の伸びは+0.6%です。)

<支出の状況>

- 支出(総額)は前年度から 3,765 億円の増加となりました。これは、収入(総額)の増加 3,265 億円を上回るものです。
- 支出の 6 割を占める保険給付費(総額)については、前年度から 2,366 億円増加しました。また、前年度からの伸びは+4.2%と、28 年度の伸び(+3.3%)と比較しても増加しました。これは、28 年度に診療報酬のマイナス改定の影響があり、一時的に伸びが抑制されていたことなどが要因です。
- 支出の 4 割を占める高齢者医療に係る「拠出金等」についても、前年度から 1,235 億円増加しました。これは、高齢者医療費の伸びに加えて、近年、伸びを抑制していたマイナス精算(拠出金等の概算納付分の戻り)の影響が 29 年度になかったことが要因です。